

令和2年度 事業報告

川崎区社会福祉協議会

目次

	頁
重点事業	1
1 川崎区社会福祉協議会運営事業	3
2 調査・研究事業	3
3 研修事業	3
4 企画・広報事業	3
5 地域福祉活動事業	4
6 団体等助成事業	4
7 連絡・調整事業	5
8 共同募金事業	5
9 福祉パル管理運営事業	5
10 生活福祉資金貸付事業	6
11 ボランティア活動振興事業	6
12 日常生活自立支援事業	6
13 老人いこいの家運営等事業	6
14 川崎市かわさき老人福祉・地域交流センター事業	7
15 公益事業	7
16 災害活動関連事業	7
17 団体事務	7
18 その他	7

令和２年度 事業報告

令和２年４月１日、市社協と区社協が合併して一つの法人となりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言が発出され、中止や延期が相次ぐなど事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けました。特に、令和２年３月末から開始された生活福祉資金特例貸付（新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活資金にお困りの方向けの貸付）は、令和３年３月末までに１８,３０５件の相談を受け、６,４０１件の申請を受付けました。一方で、令和２年度は第５期地域福祉活動計画（計画期間：令和３～５年度）の策定年度にあたり、川崎区役所と連携して第５期地域福祉活動計画を策定しました。

具体的な事業の実施状況については、次のとおりです。

重点事業

1 地区社協活動の支援・援助

地域支え合い活動助成金を交付し、地区社会福祉協議会の活動を支援しました。新型コロナウイルスの影響で中止となる事業が多かったですが、高齢者のサロンや子ども食堂、見守り活動などの事業が実施されました。

2 福祉教育の普及と協力

学校等からの相談については学習内容を含めた支援に取り組むことに努め、講師紹介・情報提供の他、車いすや高齢者疑似体験セット等の福祉用具の貸出しに関する相談を２６件受付けました。今年度は、コロナ禍で実施するにあたり、施設や企業等と連携し、オンラインでの取り組みを行いました。また、川崎区企業市民交流事業推進委員会主催の「川崎区企業市民による中学校出前授業」に協力し、区内の中学校４校の２年生を対象として「働くとはどういうことか」について話しました。

3 総合相談支援事業（福祉なんでも相談）

第４期地域福祉活動計画の重点事業である総合相談支援事業を「福祉なんでも相談」と位置づけ、相談の種別、内容に関わらず、あらゆる生活課題・福祉課題に向き合い、区民一人一人に寄り添った支援が行えるよう相談事業に取り組みました。

住宅相談や生活相談等、年間を通じて２０件の相談を受け、様々な関係機関と連携しながら、必要な情報提供、適切な機関へつなぐ等支援を行いました。

中でも、コロナ禍において、市内の小中学校が休校となったことを機に、十分な食事をとることが出来ない子どものいる家庭に対し、行政等の関係機関や川崎市社協が行う「地域生活支援ＳＯＳかわさき事業」と連携し、子どもの食糧支援を行いました。

4 広報啓発事業

地域の福祉情報の発信を充実させるための広報紙「ウェーブ」を、川崎区連合町内会の協力により全戸配布すると共に、関係機関、団体への配布など、年2回（5月、10月）発行し、区民への福祉情報発信に努めました。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、5月号は84,000部発行しましたが、9月号・1月号については発行を中止し、10月に特別号として4,000部発行しました。

令和2年4月に本会ホームページをリニューアルし、スマートフォンやタブレットなどの端末からも見やすいシステムに変更しました。福祉パルの開館情報や生活福祉資金特例貸付の情報を中心に、必要な情報を迅速に提供できるよう努めました。

新型コロナウイルスの影響で不特定多数の方が来場する福祉まつりは中止となりましたが、令和2年11月21日（土）川崎市教育文化会館6階において川崎区社会福祉大会を開催しました。各地区からの参加人数を制限して開催し、80名の参加で、17名・団体に表彰・感謝状を授与しました。

5 災害支援の取組み

新型コロナウイルスの影響で、川崎区の総合防災訓練が中止・縮小開催となり参加することができませんでした。

令和3年度の子ども向けの講座開催に向けて、被災者の写真洗浄を川崎市内で実施している団体と打合せを実施しました。

令和2年度 事業報告

事業報告の内容

川崎市社会福祉協議会 事業費【66,550,632円】

【内、共同募金配分金 14,418,029円】

1 川崎市社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、運営協議会の開催

- ア 常任委員会の開催 3回（5月※書面にて決議、9月27日、3月※書面にて決議）
- イ 運営協議会の開催 2回（5月※書面にて決議、3月※書面にて決議）

(2) 令和2年度会員及び賛助会員数

	R2実績	H31実績
会員数	133	140
賛助会員数	2,829	4,361

(3) 種別会議

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(4) 寄付金品の受け入れ

合計 1,562,833円

2 調査・研究事業

(1) 第5期地域福祉活動計画の策定

- ア 常任委員会にて確認（9月27日、3月※書面にて決議）
- イ 運営協議会にて確認（3月※書面にて決議）
- ウ 会員に素案を送付（2月※書面にて決議）

(2) 福祉ニーズ調査・検討

3 研修事業

(1) 常任委員会委員及び運営協議会委員研修会の開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

4 企画・広報事業

(1) 令和2年度川崎市社会福祉大会の開催

11月21日 参加者80名

(2) 充実した福祉情報を発信するための広報紙「ウェーブ」の発行

ア 広報紙「ウェーブ」年2回

108号(84,000部)、特別号(4,000部)発行

イ リーフレット 2,000部発行

(3) ホームページを活用した地域活動紹介と啓発活動の推進

ア ホームページでの情報発信

川崎市社会福祉協議会 ホームページ (<https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>)

※令和2年4月にリニューアルを実施

5 地域福祉活動事業

(1) こども食堂情報交換会のほか、こども食堂を含めたこどもの居場所づくりに関する支援の実施

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(2) 保育物品の貸出

保育物品の貸出 35件

(3) 福祉パルを活動拠点としている団体へのキャビネットの貸出し

キャビネット貸出し 15団体

(4) 車いすの貸出

区民への車いす無料貸出 89件

(5) 福祉用具の再利用

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

6 団体等助成事業

(1) 地区社会福祉協議会への助成

区内地区社協への助成 計8,471,400円

(2) 社会を明るくする運動への助成

令和2年度は申請なし

(3) 高齢者ふれあい活動実施団体への助成

ア 会食活動に助成 34団体

計3,330,248円(区社協助成分含む)

- イ 配食活動に助成 2団体 計303,000円 (区社協助成分含む)
- ウ ミニデイサービス活動に助成 4団体 計886,000円 (区社協助成分含む)
- エ 高齢者ふれあい活動実施団体交流会(研修会)の開催
※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

7 連絡・調整事業

- (1) 地区社会福祉協議会会長連絡会の開催
地区社協会長連絡会 2回(7月13日、3月16日)
- (2) 関係機関が開催する連絡会議等への出席

8 共同募金事業

- (1) 福祉ニーズを持つ世帯への年末支援金配分事業
年末支援金配布 446世帯・計2,230,000円
- (2) 障がい者福祉啓発事業(障がい者福祉に関する講座の開催)
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
- (3) 子育て支援事業
子育てグループに助成金配布 13団体 計315,000円
- (4) ボランティア・当事者団体への活動助成
ボランティア・当事者団体へ助成金配布 27団体 計1,480,725円
- (5) 総合相談支援事業
新型コロナウイルスの影響によりコロナ禍において、市内の小中学校が休校となったことを機に、十分な食事をとることの出来ない子どものいる家庭に対し、行政等の関係機関や川崎市社協が行う「地域生活支援SOSかわさき事業」と連携し、子どもの食糧支援を行いました。また、地域で行われているフードパントリーの活動に協力しました。
支援世帯数 62世帯

9 福祉パル管理運営事業

- (1) 研修室およびボランティアコーナーの貸出し
研修室 124件、ボランティアコーナー 15件
- (2) 地域福祉活動に必要な印刷機等の機材、機器の貸出し
印刷機 68件、コピー機36件

(3) 情報コーナーの設置によるチラシ・ポスター等の掲示

1 0 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

ア 通常貸付（新型コロナウイルス関係を除く）決定件数	58件
イ 特例貸付（新型コロナウイルス関係）決定件数	6,011件

1 1 ボランティア活動振興事業

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催

運営委員会 1回（8月25日）

(2) ボランティア依頼および活動希望の相談・調整

ア ボランティア活動希望への相談・情報提供	30件（平成31年度 76件）
イ ボランティア募集の依頼	12件（平成31年度 91件）

(3) ボランティア情報誌「いっぽ」の発行等、広報活動の実施

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(4) 各種講座・セミナーの開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(5) 福祉教育の推進

ア 福祉教育に関する相談 8件

1 2 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業および成年後見制度など、高齢者や障害者の権利擁護に関わる相談

相談件数 2,909件（初回相談79件、継続相談2,830件）

（※平成31年度相談件数 2,688件／初回相談104件、継続相談2,584件）

1 3 老人いこいの家運営等事業

(1) ミニデイケアサービス事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(2) 夜間・休日等施設開故事業

利用人数 計 2 3 3 人

(3) 区内老人いこいの家利用者数

利用人数 計 4 3, 3 1 1 人

(4) 老人いこいの家運営委員会及び運営委員長会議の開催

ア 運営委員会 9 回 (6・7 月※書面開催)

イ 運営委員長会議 1 回 (3 月 1 6 日)

1 4 川崎市かわさき老人福祉・地域交流センター事業

「老人福祉（・地域交流）センター」の指定管理運営事業について、市社協と協働して適正な管理運営を実施した。

(1) 年間利用者数 2 0, 3 7 6 名

1 5 公益事業

(1) 高齢者外出支援事業（高齢者フリーパス交付）の実施

販売実績 延べ 5 6 件

1 6 災害活動関連事業

災害ボランティアセンター設置運営訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

1 7 団体事務

関係する団体の事務局として運営・活動の支援協力を行った。

(1) 神奈川県共同募金会川崎区支会への協力

募金実績 2 1, 2 4 9, 4 7 9 円 達成率 6 8. 1 %

(2) 川崎区民生委員児童委員協議会

川崎区民児協の事務局として、研修会の開催やその他各種会議等に協力

1 8 その他

(1) 川崎市社会福祉協議会が実施する事業に協力

川崎市社協が「地域生活支援 SOS かわさき事業」の一環として行っている「食糧支援かわさき」に協力し、コロナ禍において生活に困窮されている方に対し、食糧支援を行いました。